

地域歴史資料の魅力

－ 集う・学ぶ・活かす－

熊本地震から2年、東日本大震災から7年が経過した現在、被災資料の「救出」から「活用」への移行が課題として浮上してきました。また、昨年の文化財保護法改定をめぐる動きの中でも、「活用」のあり方が一つの論点となりました。被災地を含め各地で歴史資料の「活用」が強く意識され始めています。

これまで各地の史料ネットは多くの被災資料を救出してきました。この活動の基盤は、歴史資料を地域で共有していくことにあります。こうしたことについては、すでに各地で地道な取り組みが積み重ねられています。本シンポジウムではその取り組みに学びつつ、歴史資料の「活用」のあり方を、それに関わる人や場の観点からとらえ直してみたいと考えています。

日時 2018年7月8日(日) 13:30～17:00

資料代 500円(史料ネット会員は無料)

会場 西宮市民会館

〔阪神西宮駅「市役所口」
改札北へ徒歩1分〕

■ 報告①

井上舞（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター）

「地域での「保全」と「活用」を考える（仮）」

■ 報告②

佐藤宏之（鹿児島歴史資料防災ネットワーク（準備会））

「史料保全活動と学校教育の連携の可能性
－鹿児島史料ネットの取り組み－」

■ コメント：大国正美（歴史資料ネットワーク）

歴史資料ネットワーク 記録と記憶をみらいへ

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部内

TEL&FAX 078-803-5565 HP <http://siryo-net.jp/>



今年もネット中継を行う予定です。
詳しくは当会HPをご覧ください。